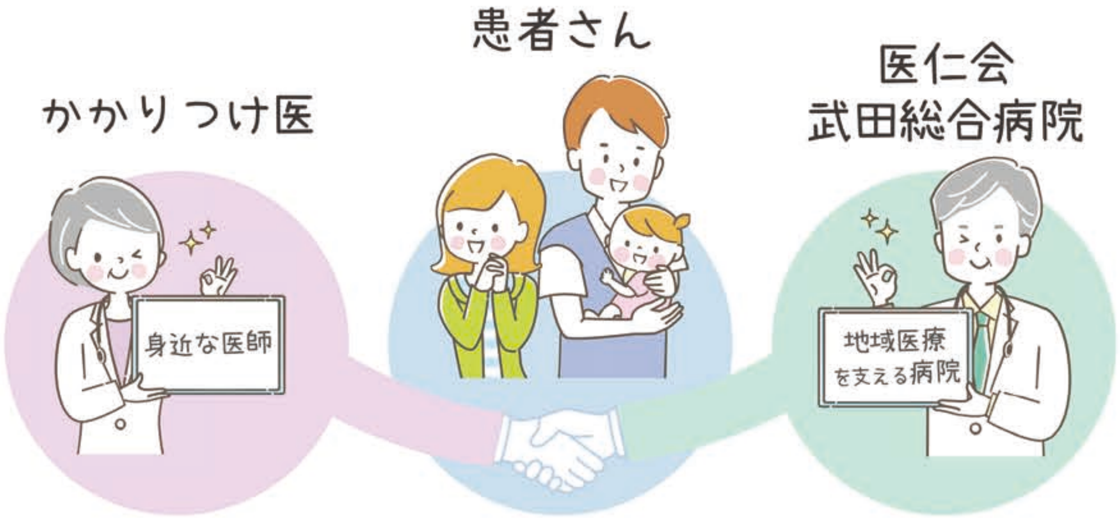
かかりつけ医と連携する「紹介受診重点医療機関」

当院は令和５年８月１日付けで紹介受診重点医療機関（厚生労働省・京都府）の承認を受けました。受診には原則として、かかりつけ医から発行された紹介状（診療情報提供書）が必要です。治療が落ち着けば基本的に紹介患者さんはかかりつけ医へ、そうでない患者さんは希望される地域の医療機関にご紹介させていただきます。地域の先生方のご協力をお願いいたします。



泌尿器科
X線室をリニューアル

当科では今年３月に透視室をリニューアルし、透視用機器として最新のキヤノン社製ZEXIRA 1314を導入しました。従来に比べて、スペースが広がり、医療者と患者さんが快適な空間を共有できるようになりました。最新機器の導入で、画像がより詳しく観察可能となり、尿路の結石や感染症、腫瘍に対し、これまで以上に正確かつ迅速に対応可能な体制となりました。

医仁会武田総合病院
患者サポートセンターだより
2024年３月号

特集 呼吸器外科

医仁会武田総合病院 患者サポートセンター

0120-72-6530
☎ 075-572-6530（直通）
FAX 075-572-6276（直通）

受付時間：月～金曜日 8:30 ～ 19:00
土曜日 8:30 ～ 17:00
※日曜日･祝日･祭日･年末年始はお休みさせていただいております。
※時間外は医事部にて対応いたします ▶☎ 075-572-6331（代表）

医仁会
武田総合病院

理念
・思いやりの心
・地域社会の信頼
・職員相互の信頼

基本方針
・ブリッジ・ザ・ギャップス
・患者さんの権利尊重
・信頼の医療に向けて
・地球にやさしい環境づくり

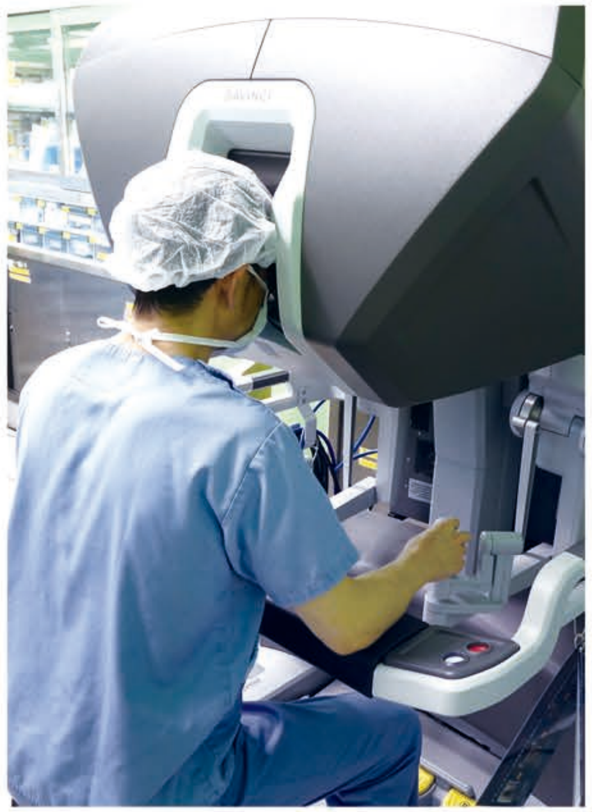
環境方針
・省資源・省エネルギーの推進
・廃棄物の３Ｒ
（減らす、再使用、再資源化）の推進
・安全性・快適性の推進
・環境広報活動の推進

患者サポート
センター

呼吸器外科

低侵襲・機能温存を心掛け
地域の期待に応えてまいります

当科では地域の信頼にお応えしていくべく、低侵襲治療を心掛けています。昨年は 113 件の全身麻酔下手術を行い、111件が胸腔鏡手術でした。昨年8月からはロボット支援手術を開始し、6 例（2024 年 1 月末現在）の肺葉切除を実施。いずれも成功を収めています。
また当科では、片肺を摘出する肺全摘のような大きな手術から、肺部分切除のように肺の一部のみを切除する比較的小さな手術まで、幅広く行っています。
最近では、2cm以下の原発性肺癌を対象とした肺葉切除（標準治療）と、肺区域切除（縮小手術）の5年生存率を比較した JCOG0802 試験（2022 年報告）で、肺区域切除の優越性が示されたため、当科でも積極的に肺区域切除を適用しています。昨年はおよそ 1/3 が肺区域切除（肺部分切除を除く）で、今年はさらにその割合を増やしていく予定です。



ロボット手術における遠隔操作

特色

ロボット支援手術（ダヴィンチシステム）は、小さな傷から複数の関節がついた鉗子を入れることで、まるで胸の中に手が入ったかのような細かい作業を可能としています。特に肺区域切除のように、切除肺と残存肺の血管・気管支を細かく区分けする必要がある複雑な手術に向いており、搭載された ICG カメラは肺区域の識別も可能としています。

代表的な疾患

呼吸器外科は、胸部一般外科と呼ばれるように、気胸や膿胸、胸部外傷など、胸部疾患の多くを取り扱います。その代表が原発性肺癌であり、永らく日本人男性の死因 1 位を独占する非常に難しい病気です。これまで手術対象は比較的早期（ステージ 1・2 期）でしたが、最近では免疫チェックポイント阻害薬などを用いた術前・術後治療の進歩もあり、進行癌であっても手術治療の対象となることがあります。

地域の先生方へ

原発性肺癌は「手術して終わり」ではなく、術後補助化学療法を含めた長期間のフォローが重要であり、かかりつけの先生方との密な連携が不可欠です。一緒になってお一人おひとりの患者さんを診療させていただきたく存じます。また当科は、肺癌以外の様々な胸部疾患の対応や、胸部異常陰影（健診異常など）の精査も行っております。

外来診療表	月	火	水	木	金	土
午前				鈴村 9:00～14:00		鈴村 9:00～14:00
午後		橋本 13:00～16:00				